

# ヨーロッパ酪農レポート

## ～サイレージ②～

### (2)Huiberts牧場のサイレージ

オランダ中部にある搾乳牛90頭の牧場で、特に粗飼料生産に注力されているということで訪問させていただきました。

#### ①多層サイレージ

オランダやデンマークでは、1番草の上に2番草や3番草というような重ね詰めされたサイレージをよく見かけます(写真12)。実は、上で紹介したElmegaard牧場のサイレージ調製も、2番草の上に4番草を重ね詰めしているところでした。



写真12 ペレニアルライグラスの2層サイレージ 上が2番草、下が1番草(オランダ南部の牧場)

Huiberts牧場では、2層どころかなんと5層のサイレージを調製されていました(写真13)。多層サイレージにする理由をHuiberts氏に尋ねたところ、「ペレニアルライグラスを5回刈りして、各番草でサイレージを作るとなると小型のサイロが5つ必要になってしまい、土地の有効活用および作業性の面で非効率である。また、複数の番草のサイレージを同時に給与するので、飼料の一貫性を維持するためにも重ね詰めが有利。」という回答でした。

確かに、ペレニアルライグラスの多回利用する体系では、1回の収量が多くないため、重ね詰めは不可欠な技術なのかもしれません。



写真13 Huiberts牧場の5層サイレージ 上からビール粕、今年産2番草、今年産1番草、昨年産5番草、昨年産4番草 高水分ビール粕の排汁が下部のグラスサイレージに吸収され、栄養ロスの防止+水分補充で嫌気度アップとの話

#### ②多層サイレージの作り方

重ね詰めすることにより、特に重ねた部分のカビや腐敗を心配するのはごく普通のご感覚ではないでしょうか。私も多層サイレージの調製時に腐敗防止のために何か特別な処理をしている



写真14 重ね詰めのために壁の半分まで敷き詰められたサイレージ



写真15 壁際に置かれた重石 中に水が入っていて、重ね詰めの際に水を抜くことで容易に撤去できる



写真18 コーンサイレージの上に重ねられたデンンプン 粕サイレージ デンンプンの上にデンンプンとは…(オランダ)



写真16 マットとベルトによる重石と密閉



写真19 踏圧密閉が素晴らしい塩水入りサイロシート 上部の腐敗は皆無 塩水は凍結防止のため(オランダ)



写真17 腐敗の全く無い写真16の多層サイレージ上部

のではないかと思います、いろいろな人に質問をしたのですが、「調製前にシートを剥がし、その上に詰めるだけだよ」という回答ばかりでした。それどころか、「何がそんなに心配なの?」とやられてしまう始末でした。

実際、重ね詰めする際には、下になる層をサ

イロ全面に拡げ、あとはしっかり密閉するだけのようです(写真14)。ただし、開封時に上部の腐敗が無いように踏圧をしっかりとかけ、また、壁際や入り口の密閉と重石を設置することが必須です(写真15、16、17)。

### (3)最後に

デンマーク、オランダのサイレージは、踏圧、密閉、壁際の管理という基本事項が忠実に実行されておりました。結局、この3点に勝る技術は無いと思いました。

最後に2つのサイレージを紹介しつつ、3回にわたるヨーロッパ酪農レポートを終了いたします。どうもありがとうございました。

(飼料研究グループ主任 高橋 強)